

6. 7つの約束

7つの約束の見方

- 1 「7つの約束」とは、「子ども達の笑顔あふれる弘前づくり」を実現するために掲げた政策です。
- 2 この表では、現状と課題とこれを踏まえためざす姿やその達成状況を示す指標を説明するとともに、「約束」を実現するための手段である個別施策の名称を記載しています。
- 3 概算事業費は、毎年度の予算編成の中で精査するとともに、財源の確保に努めます。
- 4 今後、めざす姿に向けた達成状況は、毎年度評価を行い、公表します。
- 5 個別施策の取組内容やその実施スケジュール等は、「個別施策工程表」をご覧ください。

【凡例】

「7つの約束」の名称です。

約束 7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます

現状と課題

・経済情勢の低迷に伴い税収が減少し、市としても厳しい財政状況が続いていることから、自主財源の確保・健全な行政運営の推進が必要となっています。
 ・多様化、高度化する市民ニーズを的確に把握し、課題解決のため前向きに取り組んでいく職員を育成することが必要となっています。

めざす姿

前向きに取り組む職員の育成により、市民ニーズの的確な把握やサービスの向上が図られ効率的・効果的な行政運営が実現しています。

この「約束」がめざす、将来の弘前市の姿です。

この「約束」が「めざす姿」の達成状況を表す指標(ものさし)です。

～めざす姿の達成状況を示す指標(数値目標など)～

【“市職員のパワー”を引き出します】

①職員の仕事ぶりの市民満足度を高めます。
 (市民評価アンケート) 基準値 (H21) 63.1%→
 目標値 (H25) 70.0%

②ボランティア・地域活動に参加している職員の割合 65.0%を目指します。
 (業務取得) 基準値 (H22) 48.0%→
 目標値 (H25) 65.0%

③各種研修受講者数 750人を目指します。
 (業務取得) 基準値 (H21) 630人→
 目標値 (H25) 750人

【市役所の窓口改革に取り組みます】

④窓口での対応に満足している市民を増やします。
 (市民評価アンケート) 基準値 (H21) 82.1%→
 目標値 (H25) 90.0%

⑤窓口での手続き時間に満足している市民を増やします。
 (市民評価アンケート) 基準値 (H21) 88.4%→
 目標値 (H25) 95.0%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【“市職員のパワー”を引き出します】

○ 1 民間からの中堅・幹部職員の採用(任期付きなど多様な形態で)

● 3 エリア担当制度の検討など職員の地域活動への参加促進

この約束が「めざす姿」を実現するための手段である個別施策の名称です。

○スマイル33プログラム・・・33の重点事業
 ●チャレンジ67・・・計画期間中にチャレンジする事業

この「約束」における現状と課題を記載しています。

【予算の無駄を削減します（満足感とまでいかずとも納得感を）】

⑥職員提案が施策に反映された件数 9件を目指します。
 （業務取得） 基準値（H22）0件→
 目標値（H25）9件（累計）

⑦民間活用による削減効果額 181,190千円を目指します。
 （業務取得） 基準値（H22）0円→
 目標値（H25）181,190千円（累計）
 ※第2次行政改革前期実施計画はH22年4月新たにスタートのた
 は0円とする。

⑧財政調整基金は、計画期間を通じて20億円を維持します。
 （業務取得） 基準値（H21）20億円→
 目標値（H25）20億円

⑨単年度の市債発行額のうち地方交付税措置のないもの（※）の割合を減らします。
 （業務取得） 基準値（H21）45.2%
 目標値（H25）35.1%

【用語解説】
 ※財政調整基金
 経済事情の著しい変動や災害等の緊急事態による財源不足に備えて積み立てをして
 いる貯金のこと。

※市債発行額のうち地方交付税措置のないもの。
 市債には様々な種類があり、その中に毎年の返済分を国から地方交付税として交付
 されるものがある。本指標は、この国からの援助がない、市が独自に返済していかな
 なければならない市債発行額の割合を示しており、市が事業を行うに際し、地方交付税
 措置のある市債を活用し、極力一般財源を節約していることを示すものである。

【市役所の窓口改革に取り組みます】

●4 窓口改革運動の実施

・「めざす姿」の達成状況を表す指標の基準となる
 数値を「基準値」として設定しています。
 ・アクションプランの計画期間（平成22～25年度）に
 達成すべき目標を「目標値」として設定しています。
 ・「基準値」及び「目標値」は「市民評価アンケート」
 や「業務データ」等から取得します。

○2 職員提案による自主財源の確保（人事評
 価と連動した成果主義の徹底）

（満足感とまでいかずとも

専門的な用語などの説明です。
 本文中に「※印」を付している用語について解説
 をしています。

年度別概算所要額（千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
5,553	81,990	16,549	13,549

この「約束」のめざす姿を実現するために実施
 する施策に係る概算での所要額を千円単位で
 記載しています。

約束1 市民主権システムを実現します

現状と課題

- ・市民のニーズの多様化・高度化により、従来の行政主導によるまちづくりには限界がきています。
- ・地域住民の連帯感の希薄化により、地域活動、コミュニティ活動が停滞しています。
- ・市民と行政が役割や機能を分担し、協働によるまちづくりを進めていくためには、市民との対話や情報共有化により市民の市政への参加意識の高揚を図り、また地域活動、コミュニティ活動を推進するための取り組みが必要となっています。

めざす姿

市民と行政の情報共有・対話が促進され、市民が主体のまちづくりが進められています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①市民と行政が同じ目的を持ちパートナーとしてまちづくりに取り組んでいると思う市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 13.0%→
 目標値 (H25) 25.0%
- ②市政に意見が言える機会・場所・方法について満足している市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 61.3%→
 目標値 (H25) 70.0%
- ③市政情報の提供量や内容に満足している市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 73.0%→
 目標値 (H25) 77.0%
- ④町会や公民館、地区社協などの地域活動に参加している市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 28.1%→
 目標値 (H25) 33.3%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【市民が主体となったまちづくりを実現します】

- 1 市長の給与の決定について市民の評価などを反映
- 2 市民参加型まちづくり1%システムを導入
 - 6 各種審議会の公募枠を大幅増
 (女性や若者など多様な意見を市政に反映)

- ⑤公募枠のある審議会等の割合 50%を目指します。
 (業務取得)
 基準値 (H22) 11% (5件/45件) →
 目標値 (H25) 50% (21件/42件)
- ⑥携帯サイトのアクセス数 200,000件を目指します。
 (業務取得)
 基準値 (H21) 0件→
 目標値 (H25) 200,000件
- ⑦メールマガジン登録件数 1,900件を目指します。
 (業務取得)
 基準値 (H21) 0件→
 目標値 (H25) 1,900件
- ⑧「わたしのアイデアポスト事業」の投書件数 140件を目指します。
 (業務取得)
 基準値 (H21) 123件→
 目標値 (H25) 140件
- ⑨市民参加型まちづくり1%システム支援事業数 100事業を目指します。
- ⑩市政懇談会の参加者数(主催者:弘前市町会連合会) 1,000人を目指します。
 基準値 (H21年度以前3年間26地区合計) 952人→
 目標値 (H25) 1,000人

【市民との対話を促進します】

- 3 市民評価アンケートの定期的な実施
- 4 市長車座ミーティング、車座ランチ
 (市政懇談会の見直し)
- 5 市役所内への“市民参画担当チーム”の
 設置

- 7 ホームページへの携帯サイト構築、メールマガジン定期配信

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
438	68,691	67,977	67,977

約束2-(1) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【農業振興】

現状と課題

- ・生産量日本一のりんごを地域資源として活用していくことが課題となっています。
- ・農業従事者の高齢化と後継者不足の解消が課題となっています。
- ・消費者の安全・安心志向に対応した環境にやさしい農業の促進が求められています。
- ・農業への理解と地産地消の推進が課題となっています。

めざす姿

安全・安心な農産物の生産が拡大し、農業所得が向上します。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①農業産出額 400億円を目指します。
（業務取得）
基準値（H18）37,710百万円→
目標値（H25）40,000百万円
- ②農業生産法人数（累計） 36団体を目指します。
（業務取得）
基準値（H21）27団体→
目標値（H25）36団体
- ③集落営農組織数（累計） 35組織を目指します。
（業務取得）
基準値（H21）26組織→
目標値（H25）35組織
- ④新規就農者数（累計） 122人を目指します。

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【りんご課を設置してりんご振興に全力で取り組みます】

○1 りんご課の設置

- 5 果樹の所得補償制度、輸入果汁原産地表示の国への働きかけ
- 6 りんご海外輸出の促進
- 7 果樹共済加入促進、わい化栽培促進、りんご加工品開発の支援と病害虫に強い品種づくり・土づくりの取組強化、火傷病侵入防止

- ⑤果樹共済加入率 50.0%を目指します。
(業務取得)
基準値 (H21) 34.9%→
目標値 (H25) 50.0%
- ⑥わい化栽培率 20.0%を目指します。
(業務取得)
基準値 (H21) 17.0%→
目標値 (H25) 20.0%
- ⑦りんご海外輸出量 30,000トン(青森県産)を目指します。
(業務取得)
基準値 (H21) 20,028トン/年→
目標値 (H25) 30,000トン/年
- ⑧主要農産物直売所の利用者数 1,325,000人を目指します。
(業務取得)
基準値 (H21) 1,232,422人→
目標値 (H25) 1,325,000人
- ⑨主要農産物直売所の販売金額 1,697,000千円を目指します。
(業務取得)
基準値 (H21) 1,578,940千円→
目標値 (H25) 1,697,000千円

【農業の担い手育成に取り組めます】
<ul style="list-style-type: none"> ●8 後継者育成を全力で支援、農業後継者配偶者探しの支援 ●9 技術習得・就農斡旋・農地情報提供等の支援と遊休農地の解消など農用地利用計画の検討と集落営農や生産法人化のモデル化支援
【生産地が値段をつけられる農業にしていきます】
<p>○2 市内への直販店(産直マルシェ)の誘導、他県他都市との産直販売の交流実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●10 農産物の地域ブランド化の推進、弘前ブランド認証制度の導入 ●11 新品種開発とマーケティングの連動・強化、二次加工品の高付加価値化の支援
【地産地消の拡大をはじめ地域力総結集で農業振興を図ります】
<ul style="list-style-type: none"> ●12 学校給食への地元産品の利用促進 ●13 米粉製粉場整備の誘導による米の消費拡大促進 ●14 冬の農業の育成強化、農商工連携による農業経営支援
【農家の皆さんと対話を進め農業政策に反映させます】
<ul style="list-style-type: none"> ○3 生産・加工・流通・販売関係者による「ひろさき農政会議」で施策検討・展開 ○4 農家の皆さんと膝を交えて対話する「青空座談会」の定期実施と農業女性の意見反映と地位向上の支援

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
77,402	132,845	147,172	82,328

約束2-(2) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【観光振興】

現状と課題

- ・平成22年12月4日東北新幹線新青森駅開業、平成23年弘前城築城400年祭等観光客誘客のための絶好の機会を迎えています。
- ・通年観光の定着に係る受入態勢の整備が課題となっています。
- ・観光スタイルの多様化と広域的周遊観光への対応が課題となっています。
- ・外国人観光客の誘客促進が課題となっています。
- ・地元特産品の知名度定着と販路拡大が課題となっています。

めざす姿

東北新幹線新青森駅開業や弘前城築城400年祭などを契機に、交流人口が増加することによって、観光関連産業が活性化し、雇用拡大が図られます。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①観光客入込数 1,000万人を目指します。
（業務取得）
基準値(H20) 7,162千人→
目標値(H25) 10,000千人(39.6%増)
- ②宿泊者数 70万人を目指します。
（業務取得）
基準値(H20) 493千人→
目標値(H25) 700千人(42%増)
- ③観光消費による経済波及効果額 530億円を目指します。
（業務取得）
基準値(H20) 40,807百万円→
目標値(H25) 53,000百万円(30%増)
- ④外国人宿泊者数 8千人を目指します。
（業務取得）
基準値(H20) 4,334人→
目標値(H25) 8,000人(85%増)

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【観光を起爆剤に“ひろさき産業（しごと）おこし”に取り組みます】

- 1 観光振興推進部局の設置、観光振興アクションプログラム策定と観光関連予算の増額

⑤県内外物産展売上額 3億円を目指します。
 (業務取得)
 基準値(H20) 232百万円→
 目標値(H25) 300百万円(29.3%増)

⑥ホテル旅館の地元食材調達率の向上を目指します。
 (業務取得) 新規
 H23の基準値取得後に目標値を設定

⑦観光振興による新規雇用を増やします。
 (業務取得) 新規
 H23に設定手法を研究したうえで目標値を設定

※注

①、②については、国による全国統一基準での数値が公表されたのち再設定する。

【「3つの世界一(りんご、さくら、白神山地)」と「四大まつり」などの魅力を国内外に発信して、世界中の人が訪れる“国際都市HIROSAKI”をつくりまず】

- 2 首都圏で各種メディアに弘前を売り込む専任チーム(在東京)の設置
- 3 世界自然遺産白神山地の玄関口としての発信強化

- 4 国内外のマスコミや旅行エージェントのキーパーソンを招へいし効果的な誘客活動を展開
- 5 近隣市町村との連携による首都圏での物産販売・観光PR機能の強化
- 6 マーケットが急拡大している中国など東アジアからの誘客活動を本格展開
- 7 映画、ドラマ、テレビCMの撮影誘致(フィルムコミッション)のトップセールス
- 8 ねふた祭りなどの更なる誘客や街全体への波及を促進

【受入態勢を整備して、“また来たい、住みたい弘前”をつくりまず】

- 9 農村“楽園づくり”による大都市圏在住者の移住支援や二地域居住を促進
- 10 観光ホスピタリティ運動(交通事業者、市民など一体化)と観光資源市民研修の強化
- 11 弘前観光情報の一元化(ポータルサイトの構築、中国語などの拡充)
- 12 新幹線新青森駅からの誘客のための二次交通の充実

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
75,260	169,541	99,491	103,942

約束2-(3) ひろさき農業・産業おこしに取り組みます【商工業振興】

現状と課題

- ・金融不安による世界的な景気の後退以降、地域経済は低迷が続き、有効求人倍率が低水準で推移するなど、厳しい雇用環境にあります。
- ・地域経済の活性化を図るため、地域資源を活かした新商品の開発支援や起業家等の育成による新たな仕事おこし、産学官連携による新産業の創出、企業の経営基盤の強化や企業立地の促進による雇用の安定と確保、中心商店街の空き店舗解消による賑わいのある街づくりを進めていくことが求められています。

めざす姿

商業・サービス業が活性化し、地域資源を活かした新商品開発や企業立地が促進され、雇用拡大が図られます。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ① 施策の取り組みによる新規雇用（累計） 350人を目指します。
 - 商工業振興による新規雇用 228人
 - 農林業振興による新規雇用 122人
 - （※観光振興による新規雇用は、H23に設定）
- ② 農商工連携対策支援事業所数（累計） 20件を目指します。
- ③ 新商品・新技術開発支援事業所数（累計） 50件を目指します。
- ④ 起業家支援事業所数（累計） 15件を目指します。
- ⑤ 誘致企業数（累計） 5社を目指します。
- ⑥ 中心商店街空き店舗率 8.5%を目指します。
 （業務取得）
 基準値（H21）12.8%→
 目標値（H25）8.5%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【地域資源の総動員による商品づくりとマーケティングの強化で、仕事おこしを図ります】

- 1 産学官金の連携による“ひろさき産業振興会議”の設置
- 2 “仕事おこしプロジェクトチーム”（しごとづくり、新産業創造、雇用対策などを担当）の設置による仕事づくり施策（オンリーワン技術の活用など）の積極的展開
- 3 “BUYひろさき”運動（地元産品活用の公共調達を促進）

- 5 官民一体型での弘前情報チラシ作戦（通販や市役所郵便への添付）



【弘前の強みを活かした企業立地、誘致を図ります】

○4 首都圏等在住の弘前市ゆかりの人々をメンバーとする企業誘致応援隊の結成

●6 北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進

【起業や産業を支える人づくりに取り組みます】

●7 起業実践トレーニング道場の実施と起業家交流プラットフォーム（セミナー・交流会の定期開催）構築

●8 地域資源の活用、地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの育成

●9 店舗スペースのシェアリングによる起業サポート

年度別概算所要額（千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
28,569	131,100	85,900	18,900

約束3 魅力あるまちづくりを進めます

現状と課題

- ・弘前らしい景観が失われつつあるため、弘前の資源を活かした景観形成が課題となっています。
- ・中心市街地の活力が低下してきているため、にぎわいの回復が課題となっています。
- ・少子高齢化や地域コミュニティの希薄化、社会参加の進展等、社会情勢の変化に伴い、安全、安心な生活環境の整備が課題となっています。
- ・モータリゼーションや少子高齢化の進展に伴い、公共交通利用者が減少しているため、公共交通の利便性向上と持続的な交通体系の構築が課題となっています。
- ・限られた人員や予算の中で、多様化・高度化する住民ニーズに対応するため、民間ノウハウの導入等による公共施設の効率化や住民サービスの向上が課題となっています。
- ・心の豊かさを求める時代が到来し、自然や地域資源を活かした地域づくりが課題となっています。
- ・地球温暖化により環境が損なわれるおそれがあるため、「弘前市環境基本計画」の推進により、温暖化防止に努めます。

めざす姿

地域資源・資産の効果的な活用によるまちづくりや住環境の整備を進め、低炭素・循環型の市民が暮らしやすい魅力あるまちになっています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①弘前が住みよいと思う市民を増やします。
（市民評価アンケート）
基準値（H21）50%→
目標値（H25）60%
 - ②弘前の景観に魅力を感じる市民を増やします。
（市民評価アンケート）新規
H23の基準値取得後に目標値を設定
 - ③中心市街地活性化基本計画に掲げる目標指標
中心市街地歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均） 25,000人を目指します。
（業務取得）
基準値（H21）18,018人→
目標値（H25）25,000人
- 中心商店街空き店舗率 8.5%を目指します。
（業務取得）
基準値（H21）12.8%→ 目標値（H25） 8.5%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【弘前の魅力を活かした街づくりを実現します】

- 1 弘前レトロモダン街づくりを目指した景観形成
- 2 弘前城公園活用推進検討会議の設置
- 6 ひろさき街中にぎわいリバイバルプラン策定（土手町地区、かじまち地区、駅前地区）
- 7 ひろさき街中フリーアートのスペース（美術作品の展示・販売）
- 8 空き店舗情報データベース整備
- 9 ライド・ツアー・パーク社会実験の実施
- 10 学園都市弘前、大学力と連携した街づくりプラン策定
- 11 街なかカラス対策の強化

- ④重要伝統的建造物群保存地区（仲町地区）の消流雪溝整備を進めます。
 （業務取得）
 整備率 基準値（H21） 5.5%→ 目標値（H25） 76.9%
 整備延長 基準値（H21） 90m→ 目標値（H25） 1,255m
- ⑤安全・安心な生活環境だと思える市民を増やします。
 （市民評価アンケート）新規
 H23の基準値取得後に目標値を設定
- ⑥弘南バス（弘前市関係路線）及び弘南鉄道の利用者数 5,500,000人を維持します。
 （業務取得）
 基準値（H21） 5,523,655人→
 目標値（H25） 5,500,000人
- ⑦リサイクル率 14.9%を目指します。
 （業務取得）
 基準値（H20） 8.7%→
 目標値（H25） 14.9%
- ⑧新エネルギーを導入した公共施設数 3施設を目指します。
 （業務取得）
 基準値（H21） 0施設→
 目標値（H25） 3施設
- ⑨省エネルギーを導入した公共施設数
 インハウスエスコ事業実施 6施設を目指します。
 （業務取得）
 基準値（H21） 3施設→
 目標値（H25） 6施設
- エスコ事業実施 1施設を目指します。
 （業務取得）
 基準値（H21） 0施設→
 目標値（H25） 1施設
- ※注
 ①の指標は、まちづくりに関連するものとして本編に表記するが、7つの約束すべてが反映される指標である。
 ⑥の公共交通利用者は毎年2.9%減少（直近5年の平均）しており、今後も減少すると予想されるため、減少傾向を脱し、現状を維持していくことを目標としたもの。

- 【市民にやさしい街づくりを進めます】
- 3 安全・安心の街づくりに必要な公共事業と冬期交通を確保するための除雪は確実に実施
- 12 やさしい街「ひろさき」づくり計画（公共施設のユニバーサルデザインの推進、福祉除雪、通学路スクラム除雪、歩道・側溝整備、etc）の制定
 - 13 子ども達による安心遊び場マップの策定
 - 14 二次交通体系の見直しによる利用促進と福祉バスなどの社会実験
 - 15 地域コミュニティ単位での防犯体制の整備（コンビニエンスストアとの防災協定など）
- 【民間ノウハウ導入などにより公共施設の効率化を進めます】
- 4 アセットマネジメントとファシリティマネジメントの導入（下水道と屎尿処理機能の再構築）
- 16 水道事業民営化可能性検討会議の設置
 - 17 PFI等民間ノウハウなどの導入によるインフラサービスの展開
- 【岩木山を中心とした豊かな自然を守り、活かします】
- 5 岩木・相馬地区活性化事業の推進
- 18 岩木川自然農法（無農薬・減農薬によるブランド化、循環型農業）社会実験の実施
- 【新エネルギーの活用、りんごの再資源化やゴミの減量化を進めます】
- 19 市立病院等の公共施設への新エネルギー導入や省エネルギーの推進
 - 20 りんご資源リサイクル検討会議（剪定枝バイオ燃料・絞りがす利用）の設置
 - 21 生ゴミ市内循環システムなどの構築によるゴミの減量化

年度別概算所要額（千円）			
22年度	23年度	24年度	25年度
492,049	666,574	1,000,111	968,185

約束4-(1) 子育てするなら弘前で、を目指します【子育て】

現状と課題

- ・急速な少子化の進行や女性の社会進出の増加、家庭での教育・養育能力の低下や地域コミュニティにおける近隣関係の希薄化など子育てに関わる環境の変化が著しくなっています。

めざす姿

子育てに適した環境が整って、安心して子どもを産み、元気に育てることができ、子ども達の笑顔があふれています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①合計特殊出生率 1.30を目指します。
（人口動態統計市町村合計特殊出生率）
基準値（H15～19平均） 1.19→
目標値（H20～24平均） 1.30
- ②保育所待機児童数 0人を維持します。
※産休・育休明け、年度途中就労による入所基準を改善します。
（業務取得）
基準値（H22） 0人→
目標値（H25） 0人
- ③放課後待機児童数 0人を目指します。
（業務取得）
基準値（H22） 15人→
目標値（H25） 0人

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【“子育ては弘前で”子ども達の笑顔あふれるひろさきを目指します】

- 1 「子育てスマイル（住まいる）アップ補助金」の支給
- 2 休日や夜間・早朝など保育時間の弾力化と学童保育体制の充実
- 3 子育て支援課の設置とSmile弘前子育てマスタープラン策定

- ④放課後児童健全育成事業に満足している市民を増やします。
 (市民評価アンケート) 新規
 H23の基準値取得後に目標値を設定
- ⑤子育て支援や相談体制が整っていると思う市民を増やします。
 (市民評価アンケート) 新規
 H23の基準値取得後に目標値を設定
- ⑥青少年の健全育成活動(子ども会等を含む)に参加したことがある市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値(H21) 15.6%→
 目標値(H25) 20.0%

- 4 子育て支援センターの整備(高齢者と子どもの交流や集いの広場、地産地消食育レストラン、地域子育てサポーター〈高齢者による夜間休日保育ボランティア〉配置、e t c)
- 5 児童館の再編・改築
- 6 親力向上委員会(弘前式しつけマニュアルの策定)の設置
- 7 子供会活動の活性化(地域コミュニティの復活)

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
129,385	93,936	118,352	118,747

約束4-(2) 子育てするなら弘前で、を目指します【人づくり】

現状と課題

- ・急速な少子化やグローバル化等による社会環境の変化に伴い、教育を含む社会システムの再構築が課題となっています。
- ・家庭の教育力の低下や地域コミュニティとの関係の希薄化により、基本的な倫理観や規範意識の低下が懸念されています。
- ・地域課題に対応するために、大学等が持つ高度な知識や学生力を生かした大学等との連携を強化していく必要があります。

めざす姿

次代を担う子ども達の才能が育成され、地域の伝統や文化を誇りに思い、継承する人材が育っています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①青森県学習状況調査における通過率順位 3位以内を目指します。
 (県内を10市及び郡の括りで16地区に区分し、青森県が公表する通過率による。)
 小学5年生(国・社・算・理) 基準値(H21)7位→目標値(H25)3位以内
 中学2年生(国・社・数・理・英) 基準値(H21)5位→目標値(H25)3位以内
- ②青森県学習状況調査における学習意欲の向上や学習内容の定着度を示す割合の増加を目指します。
 小学5年生 「勉強が好きだ」 基準値(H20)市平均70.6%(県平均69.8%)→
 目標値(H25)市平均80.0%
 「勉強は大切だ」 基準値(H20)市平均88.0%(県平均87.4%)→
 目標値(H25)市平均95.0%
 「授業がどの程度分かりますか」
 基準値(H20)市平均73.9%(県平均73.9%)→
 目標値(H25)市平均80.0%
 中学2年生 「勉強が好きだ」 基準値(H20)市平均54.0%(県平均54.2%)→
 目標値(H25)市平均60.0%
 「勉強は大切だ」 基準値(H20)市平均72.9%(県平均72.5%)→
 目標値(H25)市平均80.0%
 「授業がどの程度分かりますか」
 基準値(H20)市平均57.0%(県平均56.7%)→
 目標値(H25)市平均70.0%※
 「勉強が好きだ」及び「勉強は大切だ」では「そう思う」または「どちらかといえば
 そう思う」の合計、「授業がどの程度分かりますか」では「よく分かる」または「だ
 いたい分かる」の合計の割合による。
- ③小学校で33人学級を実施している学年の割合 66.6%を目指します。
 (業務取得) 基準値(H22)33.3%→目標値(H25)66.6%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【未来を描き・導く人づくりを進めます】

- 1 大学等研究機関との連携事業の展開
 - 3 小学校の33人学級拡充の検討
 - 4 海外の自治体との人事交流やホームステイによる弘前の国際人育成事業
 - 5 次の弘前を担い、創る「弘前リードマン」認定制度の導入
 - 6 「弘前マイスター」による出前授業
 - 7 小学校実践英語教育モデル校の試行(英語による授業の試行)

- ④スポーツ全国大会・東北大会参加件数 56件を目指します。
(※小・中東北及び全国スポーツ大会派遣補助等交付件数)
基準値 (H21) 52件→
目標値 (H25) 56件
- ⑤文化活動に関する全国大会・東北大会参加件数 7件を目指します。
(※小・中東北及び全国大会の文化連盟大会派遣補助交付件数)
基準値 (H21) 5件→
目標値 (H25) 7件
- ⑥市の文化の豊かさに満足している市民を増やします。
(市民評価アンケート) 基準値 (H21) 84.5%→
目標値 (H25) 90.0%
- ⑦文化・芸術活動をしている市民を増やします。
(市民評価アンケート) 基準値 (H21) 12.1%→
目標値 (H25) 25.0%
- ⑧スポーツ、レクリエーションをしている市民(月1回以上)を増やします。
(市民評価アンケート) 基準値 (H21) 25%→
目標値 (H25) 30%
- ⑨スポーツ施設の利用者数 1,050,000人を目指します。
(業務取得) 基準値 (H21) 974,833人→
目標値 (H25) 1,050,000人
- ⑩レクリエーション施設の利用者数 91,000人を目指します。
(業務取得) 基準値 (H21) 90,406人→
目標値 (H25) 91,000人
- ⑪大学等を利活用する市民の数を増やします。
(市民評価アンケート) 基準値 (H21) 5.8%→
目標値 (H25) 9.8%
- ⑫国外交流事業の参加者数 580人を目指します。
(業務取得) 基準値 (H21) 505人→
目標値 (H25) 580人

【今を支えるプロフェッショナルを応援します】

- 8 弘前マイスター認定制度の導入とネットワーク化
- 9 弘前地場産業インターンシップ
(中学・高校・大学からの受け入れ)の試行
- 10 大学や市立図書館の専門書の充実
- 11 企業技術者の地元大学等研究機関への研修派遣支援

【文化・スポーツの才能を伸ばします】

- 12 「目指せ日本一・世界一」弘前の才能育成アクションプログラム策定
- 13 目指せプロフェッショナル・キャリア支援(指導者・選手の市役所への臨時雇用など)
- 14 一流に触れるため文化・スポーツなどのイベントの積極的誘致

【挑戦する人を応援します】

- 2 ドリームゲート事業
(挑戦する若者の未来への投資)

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
7,998	31,344	198,976	138,031

約束5 命と暮らしを守ります

現状と課題

- ・ 少子・高齢化や核家族化の進行により、健康や子育てに対する不安を抱える人が増えています。
- ・ 地域的つながりが希薄化し、家庭や地域における介護機能の低下が課題となっています。
- ・ 障がい者の多様化するニーズに対し、きめ細やかな対応ができる相談支援体制の充実が求められています。
- ・ 地域医療においては、診療科の偏在や医師等医療スタッフの不足による医療スタッフの疲弊が課題となっています。

めざす姿

“赤ちゃんから高齢者まで”の命と暮らしの安心・安全づくりが充実し、市民が健康的な生活を送っています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

- ①自殺者数 48人以下を目指します。
基準値(H18) 58人→
目標値(H25) 48人以下
- ②各種がん検診受診率 5%アップ(H25、対H21実績比)を目指します。
- ③自立して生活できる高齢者の割合（要介護認定を受けていない高齢者の割合）79.2%を維持します。
（業務取得）
基準値(H21) 79.2%→
目標値(H23) 79.2%
- ④一般の民間企業における雇用障がい者数の割合 1.83%を目指します。
（業務取得）
基準値(H21) 1.71%→
目標値(H25) 1.83%
- ⑤育児に自信がもてない人の割合 6.0%を目指します。
（1歳6ヶ月児健診時：過去3ヶ年平均値：業務取得）
基準値(H21) 8.0%→
目標値(H25) 6.0%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【健康づくりを推進するとともに、地域医療の充実を図ります】

- 1 “医都ひろさき円卓会議”を設置し、医療機関のネットワークや救急医療体制を構築
 - 5 自殺予防など心の健康づくり・命の尊さ教育を実施
 - 6 がん検診の受診率向上運動の実施
 - 7 受動喫煙による健康被害を防ぐため、公共的施設での分煙と喫煙規制を強化
 - 8 インフルエンザなど児童の集団予防接種制度の検討

- ⑥健康だと思える市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 79.8%→
 目標値 (H25) 85.0%
- ⑦生きがいを持っている60歳以上の市民を増やします。
 (市民評価アンケート)
 基準値 (H21) 62.7%→
 目標値 (H25) 63.5%
- ⑧生活に満足している障がい者を増やします。
 (独自アンケート)
 基準値 (H19) 23.7%→
 目標値 (H25) 28.4%
- ⑨子育て支援や相談体制が整っていると思える市民を増やします。
 (市民評価アンケート) 新規
 H23の基準値取得後に目標値を設定

※注

③の目標値 (H23) 79.2%は、平成22年3月の要介護認定率に基づくもので、目標値 (H25) の設定は、平成23年度に策定する次期介護保険事業計画を踏まえて行う。

【高齢者福祉を充実します】

○2 高齢者の健康診断受診率向上と介護予防事業への参加促進

- 9 介護オンブズパーソンの認定による介護サービス相談体制の強化

- 10 地域における高齢者と子どもの交流活動の促進 (子育て支援センターで実施)

【障がい者福祉を充実します】

○3 障がい者への総合支援機能 (ワンストップサービス) の提供

【母子保健福祉を充実します】

○4 母子保健福祉の総合支援機能 (ワンストップサービス) の提供

年度別概算所要額 (千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
89,238	95,072	115,347	116,694

約束6 津軽地域の中核都市として、近隣市町村との連携強化を図ります

現状と課題

- ・弘前市は北東北の政治、経済、文化の中心都市として歴史的な役割を担ってきました。
- ・地方圏は大幅な人口減少とともに急速な少子・高齢化が見込まれ地域力の低下が懸念されます。
- ・市町村が単独で行政サービスの水準を維持し産業の活性化を図ることは将来的に難しくなることが予想されます。

めざす姿

弘前市が津軽地域の中核的な役割を担い、近隣市町村と医療、公共交通、観光などの分野で互いに連携・協力することにより、地域全体の活性化が図られます。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

<定住自立圏構想推進スケジュール>

- ①平成23年3月までに、中心市宣言することを目指します。
- ②平成23年10月までに、定住自立圏形成協定の締結を目指します。
- ③平成24年2月までに、定住自立圏共生ビジョンの策定を目指します。

<定住自立圏構想に係る指標>

- ④定住自立圏構想連携施策数 14件を目指します。
- ⑤定住自立圏圏域市町村をつなぐ広域バス路線及び弘南鉄道の利用者数 3,130千人を維持します。
基準値 (H21) 3,130千人→
目標値 (H25) 3,130千人
- ⑥定住自立圏圏域の観光客入込数 15,717千人を目指します。
基準値 (H20) 11,259千人→
目標値 (H25) 15,717千人 (39.6%増)

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【弘前市が中心となって近隣市町村と連携・協力して、行政サービス水準の維持や地域全体の活性化を図ります】

- 1 定住自立圏構想の推進（中心市の宣言）
 - ・地域全体の「医療サービス」の維持、向上
 - ・地域全体の「公共交通」の維持、向上
 - ・地域全体の「観光振興」を積極的に展開
- 2 （再）北東北の中核都市として、民間企業や公的団体の弘前市への着実な立地を推進
- 3 市町村合併の効果の最大化と一体感の醸成を推進（合併効果促進事業）

<市町村合併の効果に係る指標>

- ⑦ (H22～) 3市町村の合併をしてよかったと思う市民の割合
(市民評価アンケート) 新規
H23の基準値取得後に目標値を設定

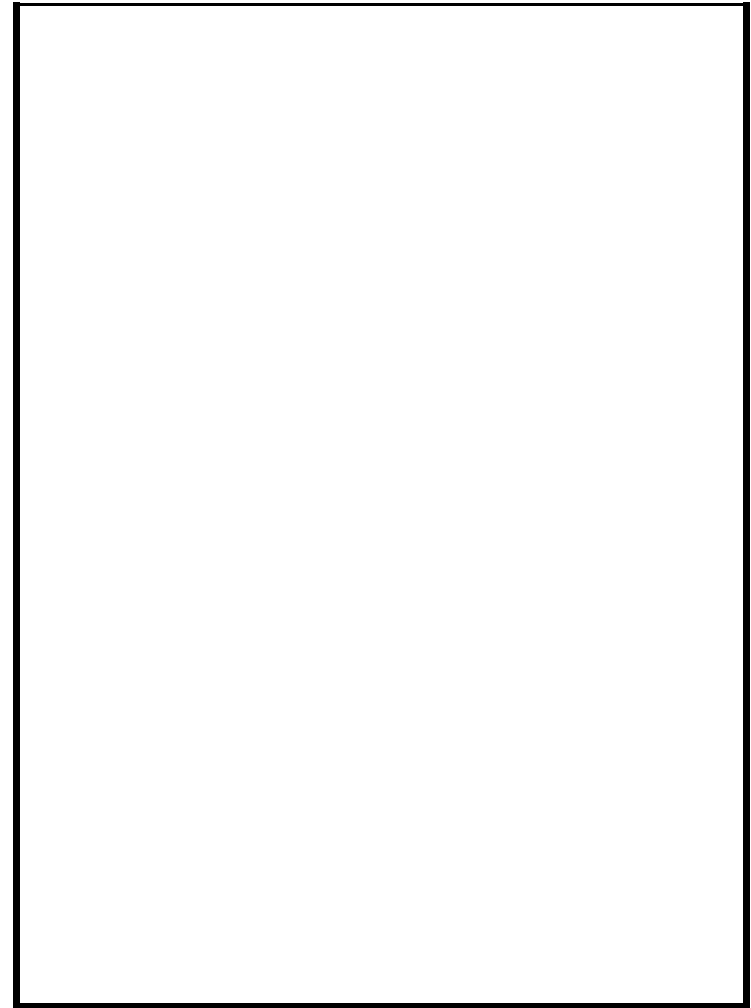
※注

医療など他の取り組みの指標は、施策内容の決定後に設定する。

④については、八戸圏域と同等の数値を目標とする。

⑤の指標値は減少傾向にあるため、現状維持を目標とする。

⑥の指標値は、約束2に示されている弘前市の目標値と同じ増減率とし、国による全国統一基準での数値が公表された後に再設定する。



年度別概算所要額 (千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
50	300	0	0

約束7 市職員のパワーを引き出し、市役所の仕事力を高めます

現状と課題

- ・経済情勢の低迷に伴い税収が減少し、市としても厳しい財政状況が続いていることから、自主財源の確保・健全な行財政運営の推進が必要となっています。
- ・多様化、高度化する市民ニーズを的確に把握し、課題解決のため前向きに取り組んでいく職員を育成することが必要となっています。

めざす姿

前向きに取り組む職員の育成により、市民ニーズの的確な把握やサービスの向上が図られ効率的・効果的な行政運営が実現しています。

～めざす姿の達成状況を示す指標（数値目標など）～

【“市職員のパワー”を引き出します】

- ①職員の仕事ぶりの市民満足度を高めます。
（市民評価アンケート） 基準値（H21）63.1%→
目標値（H25）70.0%
- ②ボランティア・地域活動に参加している職員の割合 65.0%を目指します。
（業務取得） 基準値（H22）48.0%→
目標値（H25）65.0%
- ③各種研修受講者数 750人を目指します。
（業務取得） 基準値（H21）630人→
目標値（H25）750人

【市役所の窓口改革に取り組めます】

- ④窓口での対応に満足している市民を増やします。
（市民評価アンケート） 基準値（H21）82.1%→
目標値（H25）90.0%
- ⑤窓口での手続き時間に満足している市民を増やします。
（市民評価アンケート） 基準値（H21）88.4%→
目標値（H25）95.0%

個別施策

○スマイル33プログラム / ●チャレンジ67

【“市職員のパワー”を引き出します】

- 1 民間からの中堅・幹部職員の採用（任期付きなど多様な形態で）
- 3 エリア担当制度の検討など職員の地域活動への参加促進

【予算の無駄を削減します（満足感とまでいかずとも納得感を）】

- ⑥職員提案が施策に反映された件数 9件を目指します。
 (業務取得) 基準値 (H22) 0件→
 目標値 (H25) 9件 (累計)
- ⑦民間活用による削減効果額 181,190千円を目指します。
 (業務取得) 基準値 (H22) 0円→
 目標値 (H25) 181,190千円 (累計)
 ※第2次行政改革前期実施計画はH22年4月新たにスタートのため基準値(実績値)は0円とする。
- ⑧財政調整基金は、計画期間を通じて20億円を維持します。
 (業務取得) 基準値 (H21) 20億円→
 目標値 (H25) 20億円
- ⑨単年度の市債発行額のうち地方交付税措置のないもの(※)の割合を減らします。
 (業務取得) 基準値 (H21) 45.8%→
 目標値 (H25) 35.3%

【用語解説】

※財政調整基金
 経済事情の著しい変動や災害等の緊急事態による財源不足に備えて積み立てをしている貯金のこと。

※市債発行額のうち地方交付税措置のないもの。
 市債には様々な種類があり、その中に毎年の返済分を国から地方交付税として交付されるものがある。本指標は、この国からの援助がない、市が独自に返済していかねばならない市債発行額の割合を示しており、市が事業を行うに際し、地方交付税措置のある市債を活用し、極力一般財源を節約していることを示すものである。

【市役所の窓口改革に取り組みます】

●4 窓口改革運動の実施

【予算の無駄を削減します（満足感とまでいかずとも納得感を）】

- 2 職員提案による自主財源の確保(人事評価と連動した成果主義の徹底)

年度別概算所要額(千円)			
22年度	23年度	24年度	25年度
5,553	81,990	16,549	13,549